

■覚信尼 尼僧。親鸞の第七子(末娘)。本願寺の起源となる親鸞影堂を建立した。

かくしんに

親鸞真宗始・1224＝ 常陸国稲田で、親鸞の娘に生まれる。母は恵信尼。俗名は弥女。

北条政子没・1225＝ 1歳：

御成敗式目・1232＝ 8歳：

・・・・・・1233＝ 9歳：

金滅亡・・・・1234＝10歳：親鸞が関東から京都に帰るに従い、

北条泰時没・1242＝18歳： はじめ太政大臣久我通光の女房となり兵衛督局と呼ばれたが、

日野左衛門佐広綱と結婚して、覚恵尼・光玉尼を生む。

北条時頼執権1246＝22歳：

・・・・・・1248＝23歳： 夫と死別。以後、父親鸞と生活をともにする。

・・・・・・1251＝27歳：

小野宮禅念と再婚し、

日蓮宗始・1253＝29歳：唯善を生む。

北条時頼出家1256＝32歳：

立正安国論・1260＝36歳：

武家仏教成立1262＝38歳：\*父親鸞が死去すると、大谷の地に葬り、石塔を建てた。

北条時頼没・1263＝39歳：

覚信尼の出家は親鸞の没後のことで、「わうごぜん」と俗称された。

北条時宗執権1268＝44歳：

蒙古対馬来航1269＝45歳：

後嵯峨上皇没1272＝48歳：\*大谷の禅念所有地に廟堂を建て、親鸞の木像を安置した。これが大谷本廟で、本願寺の基である。

元寇文永の役1274＝50歳：

元使斬殺・・・・1275＝51歳：\*夫禅念の死後、廟堂の敷地を門徒共有として寄進した。遺言により管理護持の役(留守職)に覚信尼があたり、以後、留守職(のちの法主)は覚信尼の子孫が継ぐことになった。

元が交易許可1278＝54歳：

元寇弘安の役1281＝57歳：

沙石集・・・・1283＝59歳： 没した。

のち、留守職を継いだ覚恵の時、亀山天皇から紫宸殿を賜り、勅願寺として久遠実成阿弥陀本願寺の寺号を贈られた。